宮崎地方気象台

令和6年台風第10号
今後の見通しに関する説明会

令和6年8月28日10時00分

宮崎地方気象台

台風第１０号に関する警戒事項

■ 雨の予想（多い所）

28日から29日に予想される降水量　**１時間　７０ミリ**
28日06時から29日06時までに予想される降水量　**２４時間　４００ミリ**
29日06時から30日06時までに予想される降水量　**２４時間　６００ミリ**
30日06時から31日06時までに予想される降水量　**２４時間　１５０ミリ**

29日夜にかけて、線状降水帯が発生して大雨災害の危険度が急激に高まる可能性

大雨災害に厳重警戒

宮崎県に**大雨特別警報**を発表する可能性！

台風第１０号に関する警戒事項　28日07時現在

■ 風の予想

28日に予想される最大風速（最大瞬間風速）**２３メートル（３５メートル）**
29日に予想される最大風速（最大瞬間風速）**２５メートル（３５メートル）**

30日にかけて暴風となるおそれ　**影響が長引くことに留意**

暴風に警戒

■ 波の予想

28日　**８メートル**　うねりを伴う
29日　**９メートル**　うねりを伴う

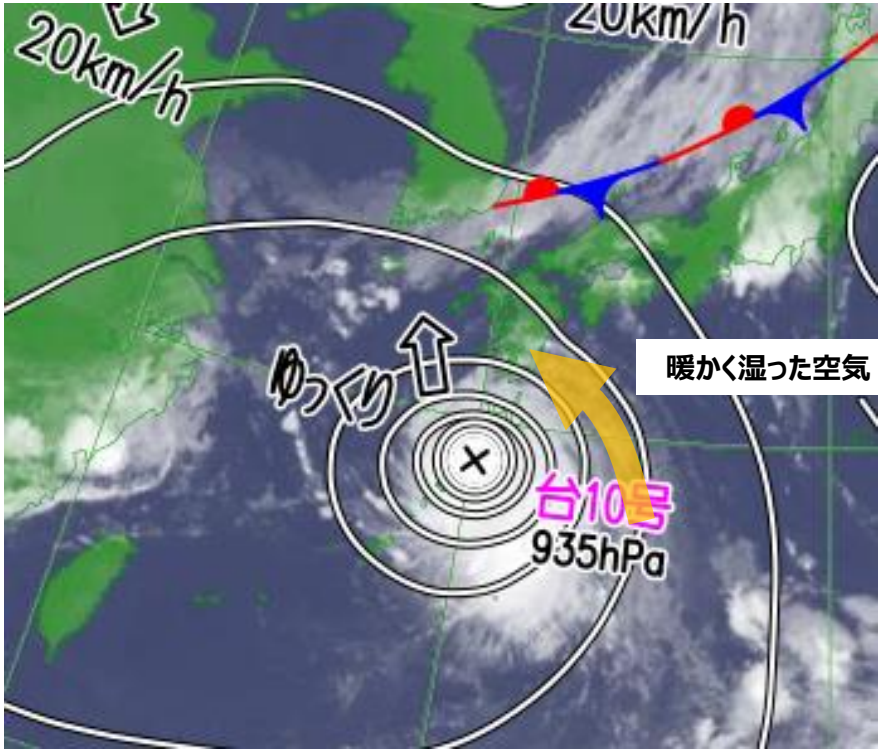
30日にかけてうねりを伴い大しけとなるおそれ

うねりを伴った高波に厳重警戒

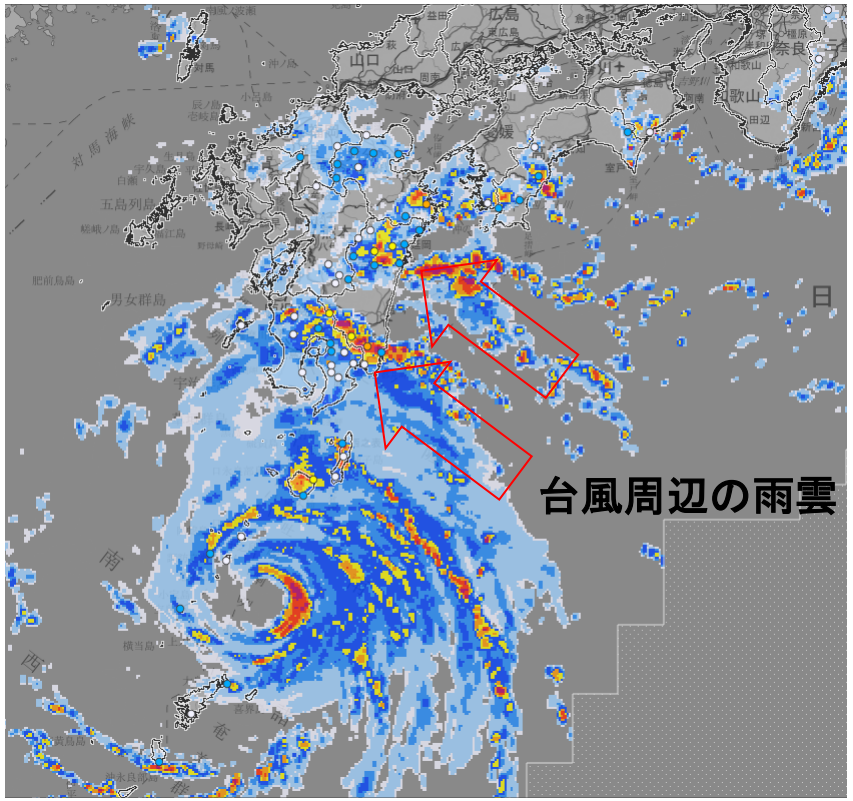
※最新の台風進路予報・気象情報等に留意し、早めの対策をお願いいたします。

台風第１０号の実況と特徴

・台風の経路では海面水温が30℃以上あり、水蒸気の供給が多く、発達に適した条件
・九州付近での北上の速度は遅いため、大荒れの状況が長引くおそれ
・宮崎県では、東寄りの台風周辺の暖かく湿った空気の流れ込みが続き、台風接近前から大雨

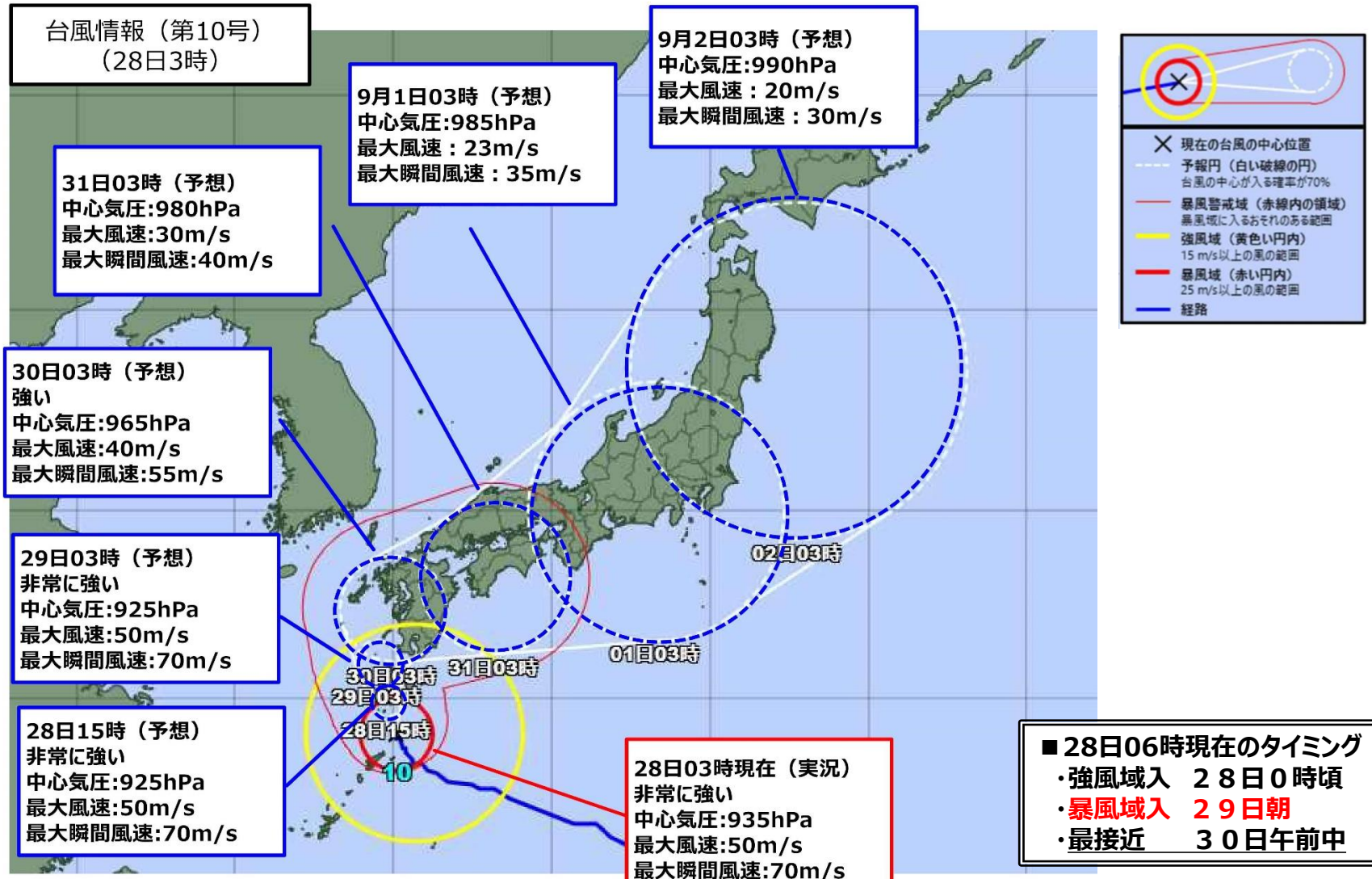


8月28日03時　衛星画像（赤外）と地上天気図



8月28日09時20分　気象レーダー画像

台風第１０号の進路予想　２８日０３時発表



■28日06時現在のタイミング
・強風域入　２８日０時頃
・暴風域入　２９日朝
・最接近　３０日午前中

予報には誤差があり、台風の中心が予報円の中心点やそれを結ぶ線の上を必ず通るとは限らないことに留意。

早期注意情報（警報級の可能性）　２８日０５時現在

宮崎県南部平野部	28日			29日		30日	31日	1日
警報級の可能性	06-12	12-18	18-24	00-06	06-24			
大雨	［高］		［高］		［高］	［高］	-	-
暴風(雪)	-		［高］		［高］	［高］	-	-
波浪	［高］		［高］		［高］	［高］	-	-
高潮	-		-		-	-	-	-
宮崎県北部平野部	28日			29日		30日	31日	1日
警報級の可能性	06-12	12-18	18-24	00-06	06-24			
大雨	［中］		［高］		［高］	［高］	-	-
暴風(雪)	-		-		［高］	［高］	-	-
波浪	［高］		［高］		［高］	［高］	-	-
高潮	-		-		-	-	-	-
宮崎県南部山沿い	28日			29日		30日	31日	1日
警報級の可能性	06-12	12-18	18-24	00-06	06-24			
大雨	［高］		［高］		［高］	［高］	-	-
暴風(雪)	-		［中］		［高］	［高］	-	-
宮崎県北部山沿い	28日			29日		30日	31日	1日
警報級の可能性	06-12	12-18	18-24	00-06	06-24			
大雨	［中］		［高］		［高］	［高］	-	-
暴風(雪)	-		-		［高］	［高］	-	-

※最新の情報等に留意し、早めの対策をお願いいたします。

今後の見通し　２８日０８時現在

			28日						29日							
			6-9時	9-12時	12-15時	15-18時	18-21時	21-24時	0-3時	3-6時	6-9時	9-12時	12-15時	15-18時	18-21時	21-24時
			朝	昼前	昼過ぎ	夕方	夜のはじめ頃	夜遅く	未明	明け方	朝	昼前	昼過ぎ	夕方	夜のはじめ頃	夜遅く
大雨(浸水)(ミリ)	南部平野部		40	40	40	50	70	70	70	70	70	70	70	70	50	50
	北部平野部		40	40	40	50	70	70	70	70	70	70	70	70	50	50
	南部山沿い		40	40	40	50	70	70	70	70	70	70	70	70	70	70
	北部山沿い		40	40	40	50	70	70	70	70	70	70	70	70	70	70
大雨(土砂)	南部平野部		注	警	警	警	警	警	警	警	警	警	警	警	警	警
	北部平野部		注	注	注	注	警	警	警	警	警	警	警	警	警	警
	南部山沿い		注	警	警	警	警	警	警	警	警	警	警	警	警	警
	北部山沿い		注	注	注	注	警	警	警	警	警	警	警	警	警	警
風(メートル)	南部平野部	陸上	15 ←	15 ←	15 ←	16 ←	18 ←	20 ←	20 ↖	20 ↖	20 ↖	20 ↖	20 ↑	20 ↑	20 ↑	20 ↑
		海上	17 ←	17 ←	17 ←	18 ←	20 ←	23 ←	23 ↖	23 ↖	25 ↖	25 ↖	25 ↑	25 ↑	25 ↑	25 ↑
	北部平野部	陸上	12 ←	13 ←	15 ←	15 ←	15 ←	16 ←	17 ↖	17 ↖	18 ↖	19 ↖	20 ↑	20 ↑	20 ↑	20 ↑
		海上	15 ←	15 ←	17 ←	17 ←	17 ←	18 ←	20 ↖	20 ↖	21 ↖	22 ↖	23 ↑	23 ↑	25 ↑	25 ↑
	南部山沿い		12 ←	13 ←	13 ←	13 ←	15 ←	18 ←	18 ↖	18 ↖	18 ↖	20 ↖	20 ↑	20 ↑	20 ↑	20 ↑
	北部山沿い		10 ←	12 ←	12 ←	12 ←	15 ←	15 ←	15 ↖	15 ↖	18 ↖	18 ↖	20 ↑	20 ↑	20 ↑	20 ↑
波浪(メートル)	南部平野部		6	6	6	7	7	8	9	9	9	9	8	8	8	8
	北部平野部		5	5	5	6	6	7	8	8	8	8	8	8	8	8

警報級　注意報級

※最新の注意報・警報・気象情報等でご確認ください。

・ハザードマップ等により、周辺区域の**危険が及ぶおそれがある場所をあらかじめ確認**してください。

・暴風が実際に吹き始めてからでは、屋外での行動は命に危険が及びます。土砂災害や洪水等のおそれがある区域では、風雨が強まる前の**早めのタイミングで対応をとることが重要**です。

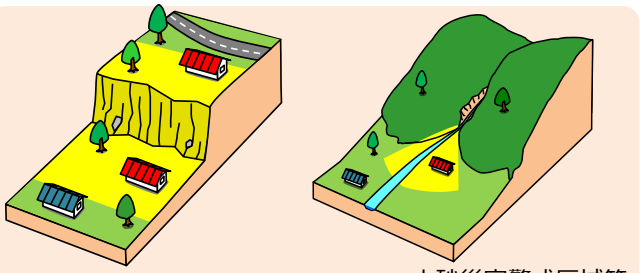
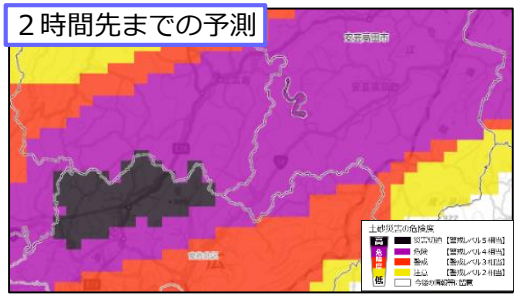
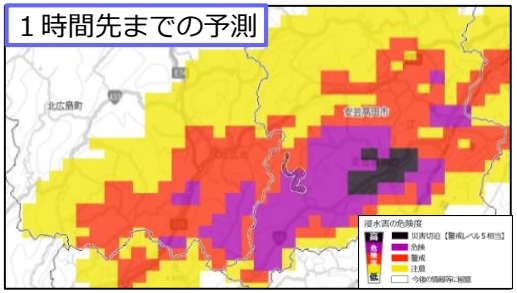
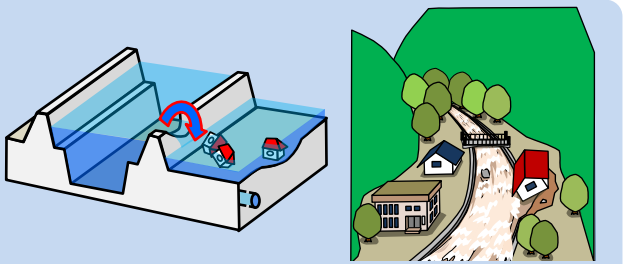
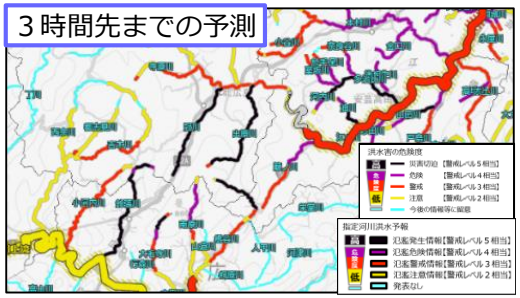
暴風が吹く前までに、避難完了を！

現在、「令和6年台風第10号に関する宮崎県気象情報」を発表中です。

最新の情報をご確認ください。

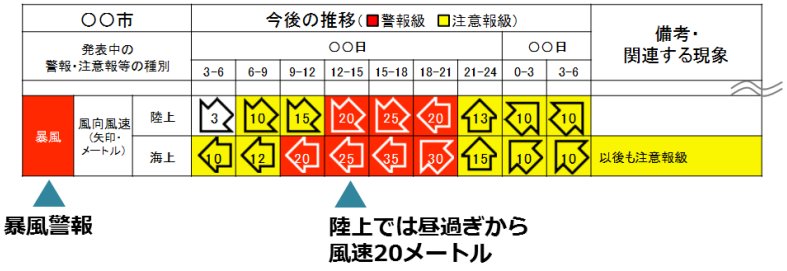
（参考）大雨による災害への備え

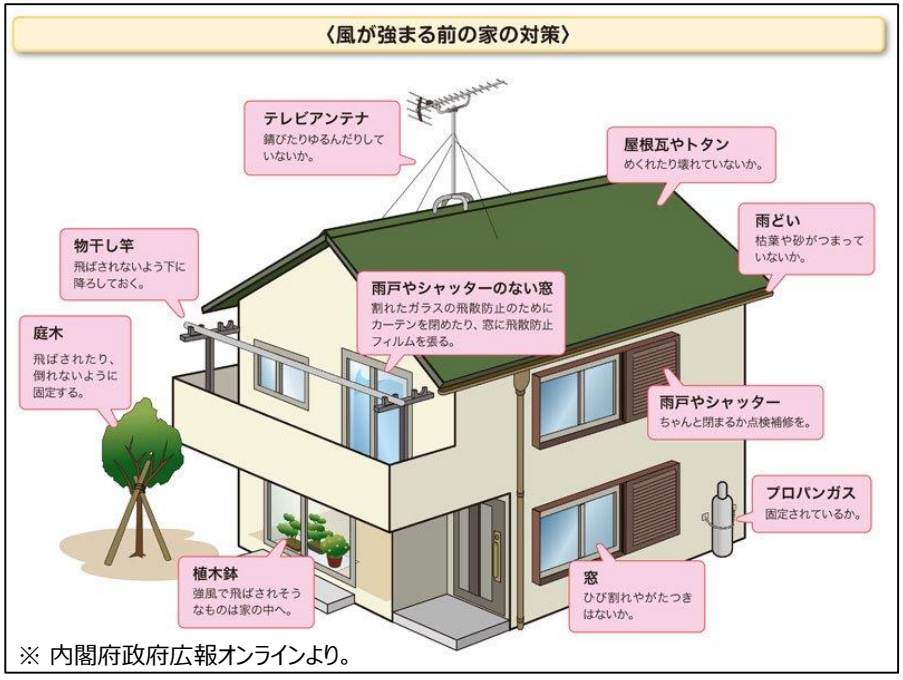
- ハザードマップ等により、土砂災害警戒区域や浸水想定区域等の命に危険が及ぶおそれがある場所をあらかじめ確認しましょう。
- 土砂災害・浸水害・洪水災害の危険度がどこで高まる予測となっているかを「キキクル（危険度分布）」の地図で確認することができます。
- 大雨により命に危険が及ぶおそれがある場所では、風雨が強まる前の早めのタイミングで対応をとることが重要です。風雨が強まるタイミングは、市町村毎に発表される警報・注意報で確認することができます。

	命に危険が及ぶおそれがある場所	キキクル（危険度分布）	災害の例
土砂災害	 土砂災害警戒区域等	2時間先までの予測 	
浸水害	住宅の地下室や道路のアンダーパス等	1時間先までの予測 	
洪水災害	 浸水想定区域や山間部を流れる中小河川沿い等	3時間先までの予測 	

（参考）暴風による災害への備え

- 暴風が実際に吹き始めてからでは、屋外での行動は命に危険が及びます。
- 特に土砂災害や洪水、高潮のおそれがある区域では、風雨が強まる前の早めのタイミングで対応をとることが重要です。
- 風雨が強まるタイミングは、市町村毎に発表される警報・注意報で確認することができます。





※ 内閣府政府広報オンラインより。

平均風速（m/s） おおよその時速	人への影響 走行中の車	屋外・樹木の様子	建造物	おおよその瞬間風速（m/s）
20～25 ～約90km/h	何かにつかまっていられないと立っていられない。飛来物によって負傷するおそれがある。	細い木の幹が折れたり、根の張っていない木が倒れ始める。看板が落下・飛散する。道路標識が傾く。	屋根瓦・屋根葺材が飛散するものがある。固定されていないプレハブ小屋が移動、転倒する。	30
25～30 ～約110km/h			養生の不十分な仮設足場が崩落する。	40
30～35 ～約125km/h				
35～40 ～約140km/h	走行中のトラックが横転する。	多くの樹木が倒れる。電柱や街灯で倒れるものがある。ブロック壁で倒壊するものがある。	外装材が広範囲にわたって飛散する。	50
40～ 約140km/h～			住家で倒壊するものがある。鉄骨構造物で変形するものがある。	60

※ 平均風速は10分間の平均、瞬間風速は3秒間の平均です。
※ 人や物への影響は日本風工学会の「瞬間風速と人や街の様子との関係」を参考に作成しています。
※ 詳細は気象庁ホームページを御確認ください。（https://www.jma.go.jp/jma/kishou/books/amekaze/amekaze_index.html）

（参考）高波・高潮による災害への備え

- 台風の接近に伴い、沿岸では命に危険を及ぼすような高波や高潮のおそれがあります。特に、高潮で潮位が高くなっている時は、普段は波が来ないようなところまで波が押し寄せる事があります。むやみに海岸には近付かないでください。
- 高波や高潮に警戒が必要なタイミングは、市町村毎に発表される警報・注意報で確認することができます。
- 暴風が実際に吹き始めてからでは、屋外での行動は命に危険が及ぶため、特に高潮時に浸水のおそれがある区域では、風雨が強まる前のタイミングで対応をとることが重要です。

波浪・高潮注意報等で今後の推移について確認

○○市の警報・注意報（今後の推移）

年　月　日　時　分発表

○○市	22日							23日		備考・
	03-06	06-09	09-12	12-15	15-18	18-21	21-24	00-03	03-06	
大雨（浸水）	30	50	50	50	50	50	50	60	60	
暴風	23	25	25	30	30	35	40	40	40	以後も警報級
波浪	8	8	9	9	10	10	10	10	11	以後も警報級 うねり
高潮	1.7	1.7	0.7	0.7	1.8	1.8	1.7	1.8	2.0	以後も警報級 ピークは3時頃
雷										以後も注意報級

■ 大雨特別警報
■ 特別警報(大雨以外)・高潮警報・土砂災害警戒情報
■ 警報(高潮以外)・高潮注意報(*1)
■ 注意報(高潮以外)・高潮注意報(*2)
■ 予想期間外

*1 高潮警報に切り替える可能性が高い
*2 上記以外の高潮注意報

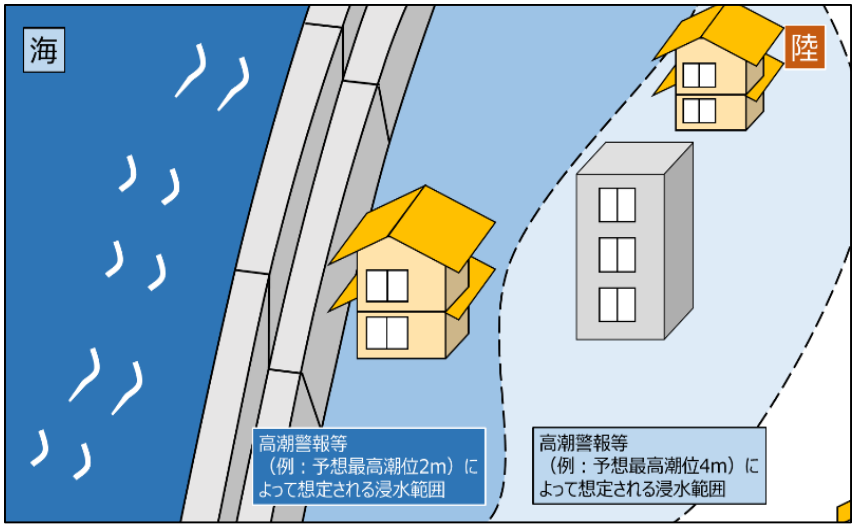
予想される波の高さ

予想潮位(高潮の高さ)

※潮位が上昇する前に暴風が吹く予想

※高潮や高潮と重なり合った高波による浸水に警戒

高潮時に浸水のおそれがある区域



高波や高潮による災害の事例